

# IoT活用による雨水排水ソリューション

IoT活用により浸水対策に貢献  
水位周知下水道<sup>※1</sup>にも対応

## 特 長

### ■ LPWA<sup>※2</sup>の活用で管きょ内水位の見える化を低コストで実現

管きょ内に水位計（無線、バッテリーを内蔵）を設置し、LPWAを活用してクラウドで水位を監視。水位計の無線・バッテリー化により工事費を、LPWA活用により通信費を削減。気象情報による計測周期の自動変更でバッテリーも長持ち。

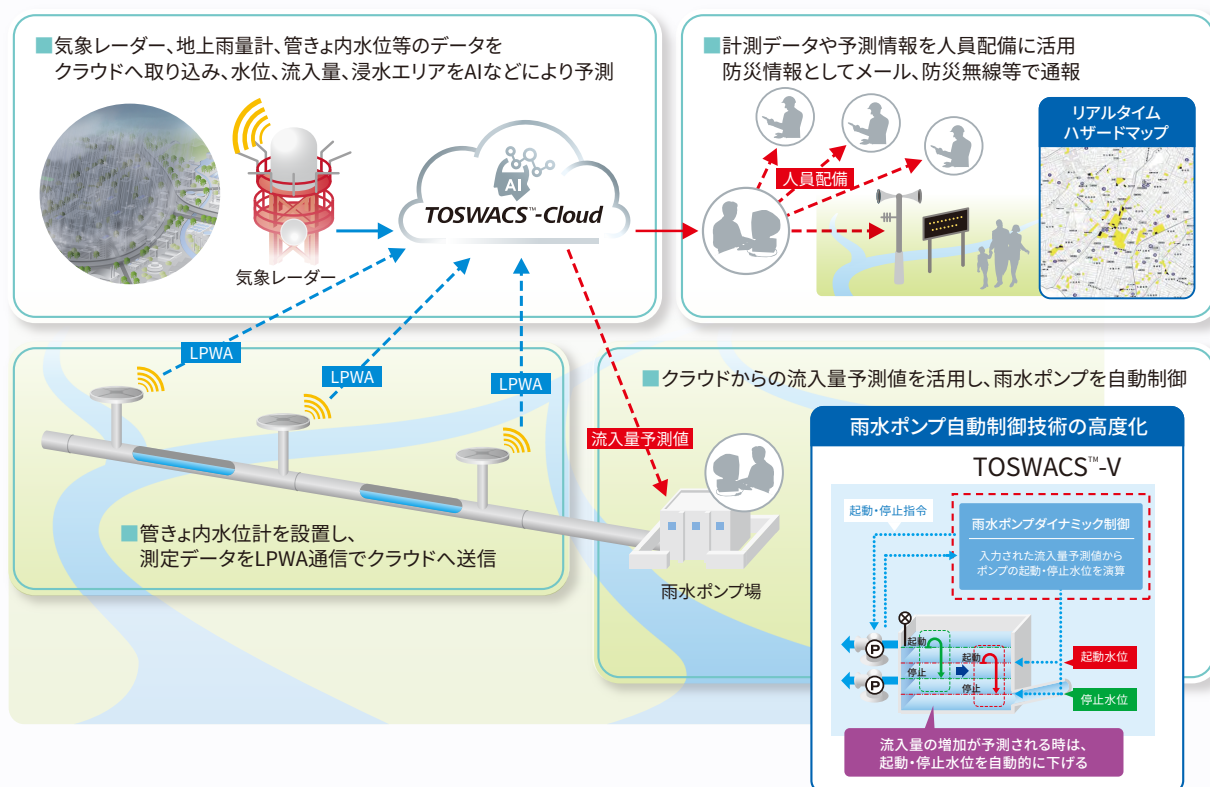
### ■ AIを活用して浸水エリアを予測（リアルタイムハザードマップ）

配信されている気象データや、地上雨量計、管きょ内水位計のデータをリアルタイムで演算し、AI活用によりハザードマップを作成。浸水が予測される地域に警報を発報。管きょ内水位やポンプ場への流入量を予測することで人員配備にも活用。

### ■ 独自の雨水ポンプ制御技術により浸水リスクを低減

AIなどにより予測された流入量からポンプの起動・停止水位を変動させ（雨水ポンプダイナミック制御）、排水機能を最大化することで浸水リスクを低減。メンテナンスコストの削減やオペレータの負担軽減にも貢献。

## 構 成



TOSWACSは、東芝インフラシステムズ株式会社の登録商標です。

※1 水位周知下水道：都道府県知事または市町村長が内水により相当な被害を生ずるおそれがあるものとして指定した公共下水道等の排水施設など

※2 LPWA (Low Power Wide Area)：消費電力を抑えて遠距離通信を実現する通信方式